

月刊 ポケット

発行日 2008年1月1日

あわじ



これがヤマモモの赤ちゃん、みんな赤ちゃんのときお母さんにお乳を飲ませてもらったように赤ちゃんの木は、肥料や水をもらって大きくなるんだよ。



「ヤマモモの時期にはぜひ来てください」と、伊加利の別処さん

南あわじ市伊加利(いかり)にある別処文雄(べっしょふみお)さんの里山を訪ねた。田んぼのあぜ道から突然にぎやかな子どもたちの声がして振り向くと、近くの幼稚園の子どもたち。「近道を通ってきてん」と、リュックを背負いハハハいいながらも元気な足取りだ。いっしょに別処さんの家の裏の里山を目指した。竹林の中の道を抜けると美味しそうな山柿がたわわ！別処さんを見習って、高枝バサミで柿をもいでいく。どんどん採れる柿に子どももおとなも大興奮。応援隊も取材のつもりが、気が付くとまるで子どもに戻ったようにキャアキャアと歓声をあげていた。そして、最後に高いところに数十個残ったところで誰も手が出なくなった。そこで別処さんの出番となった。植木屋さんが使うようなはしごに乗って、器用に高枝バサミで柿をもぐ姿はカッコよくて、とても78歳とは思えない身のこなしで、最後の一つを採った瞬間にはいっせいに拍手が起こった。里山の起伏に富んだ地形も魅力的で1日中駆け回りたような衝動に駆られた。歩いているとあちこちにヤマモモの苗木が…。「ヤマモモはCO₂(二酸化炭素)を吸ってくれ、葉っぱを落して自

分で肥料も作る環境にとっても良い木。この里山に団塊の世代の人々など、まだまだ人生に余力のある人たちに来てもらい、楽しみながら体を動かし汗をかく“原始力(人カ)”でヤマモモの木を育てるプロジェクトが出来ればいいなあ。近くには南あわじウィンドファームの風車が回っている。この付近一帯を風力や“原始力(人カ)”で発電する世界一キレイな空気にあふれたエコエネルギーの里山にしたい。ヤマモモは、私が死んだ後も空気をきれいにし続けてくれる」と、別処さんの気持ちは地球規模だ。デッカイ！



は忘れに名札を

山を歩きながら、別処さんは、「これは接木(つぎき)して2年目、これは1年目」とか、花の名前や咲く時期、形や色などを説明してくれた。(今度来たときにいるだろうな)これらの木つけてくれる人はいません。取材：坂本和子&浜田泰美

応援隊記事 身近な田舎を守ろう 堂々と田舎！

- P.1 堂々と田舎！伊加利の別処さん
- P.2 えま&慧奏・手の届く自然手の届く野生
- P.3 わが家の師走から元旦にかけての行事～室津田舎暮らし座談会

もくじ

P.4 ポケットくつきんぐ 東山寺大根

調理の用語いくつ知っている？

P.5 生活創造活動グループ・しっちゃんさんの独り言

P.6 淡路文化会館・淡路生活科学センターからのお知らせ

P.7～8 淡路のイベント情報・展示情報

えま&慧奏 (Ema&Esoh)



～気持ちのいい音楽にふれる～

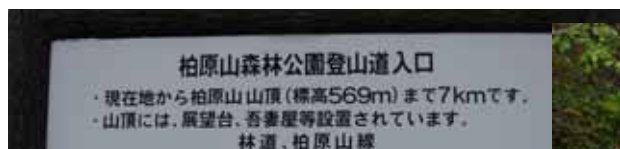
ポケットあわじの編集会議で身近な田舎を探しているとき「えま&慧奏」の話題が出ました。「とても気持ちのいい楽しい演奏会でねえ…」と、応援隊の中でもその音楽にふれた人が何人かいて話が盛り上がりました。これは、ぜひ一度会ってみたいという思いから、思わず「取材に行く」と手を挙げていました。えま&慧奏のお二人は夫婦で音楽活動を行っています。ちょっと変わった名前の由来は「えま」は夢に出てきた名前、「慧奏」は仏教の智慧(ちえ=知恵)、宇宙法則的な意味があるそうです。えまさんは二胡(にこ=中国の弦楽器)と、とても透明感のある心が落ち着くボーカルが持ち味です。夫の慧奏さんは、ピアノやキーボード、そして、アボ

リジニ(オーストラリア原住民)の太鼓やトルコのダフブッカなど、中近東の民族打楽器で心地よいリズムを奏でます。お二人の音楽は、聴く人の心に響くフィーリングたっぷりの演奏で、お寺のお坊様の合唱とセッションをした事もあるそうです。(面白そう！これは、聴きたかった)

お二人が生まれ育ったのは大阪で、結婚後は奈良に住んでいましたが、震災後、淡路島出身のえまさんのご両親が実家の淡路島に帰った為、仕事のたびに子どもをあずけに来ていたのです。お二人も子どもが保育所に入るまでと、12年前に淡路市釜口(東浦地区)で古民家を借りて住みはじめたのですが、二人目の子どもを妊娠中にここに住むことを決意し、釜口の山すそにしょうしゃな家を建てました。最初は地域の人とのつながりもありませんでした。家を建てて直ぐに、NHKのテレビ出演があり、それからは近所の人々が親しく声をかけてくれるようになり、地域になじんでいったのです。今では町内会やPTAなどのつながりも出来て、地区でのイベントには必ず「空けといてね」と言われるまで頼りにされています。淡路に住み始めてからは、縁があった先生のつながりで島内での小学校の演奏が増え、伝統的な曲で子どもたちと楽しんでいるそうです。

淡路に住んでの感想を尋ねると、「曲を作る時に海や波の詩が入るようになったこと」だとか。

取材：坂本厚子・水田未央子・竹谷香代・竹原祐乗



手の届く自然
手の届く緑

洲本市の奥の方、千草から保育園の横を通って進んでいくと、頂上まで約7キロの看板。山、山に囲まれた道をずっと登っていきます。車では頂上駐車場まで約20分。6月に登ったときには写真のようなシカを見かけました。この時期は紅葉にウットリ！赤とオレンジと緑に包まれて、まるでキャンパスのなかにいるような気分でした。さてみなさん、私は今どこにいるのでしょうか？ そうです、あたり！ 洲本市の標高569Mの柏原山の山頂です。少し下ると、展望台があり、灘方

面の海がとっても綺麗。ここから先は、コンクリートのアップダウンのきつい道、ガードレールがなく、ちょっと怖いかな…。でも、ドライブ好きな私は運転を始めた18年前からときどき来ている道。あのときから変わらず今も空気が綺麗で、はたまた偶然にも野生の動物たちに出会えるかもしれない柏原山！年は重ねても、ここに来るとこみあげてくるワクワク感は全然変わらなくて…。街の中はどんどん変化していても、自然いっぱい柏原山はそのまんまです！

取材：橋本史江

わが家の師走から元旦にかけての行事～室津地区

応援隊：廣岡ひろ子

12月吉日 うらじろを山に迎えに行く。(乾燥しないように井戸につり下げておく)

しめ縄を作る(稲わら、だいだいは自家製のものを使用) 大・中・小、百本くらい作る。

12月30日 おもちつき

12月31日 ・男性は、お正月飾りをする(床、家中の神棚、仏壇、とし神様、屋敷神様、入口、窓、車、墓、農機具、田んぼ、犬小屋、鳥小屋など) ・女性は、おせち料理作りをする。

夜、家中の神棚、床、仏壇におもちをまつり、灯明を上げ、屋敷神様にはおもちと線香をまつり、お正月を迎える。仏壇の鐘は、しめの内は使わないので、見えないところに置く。一年間に感謝し、年越しそばをいただく。客間に元旦の準備をする。家族一人ひとりに、うらじろ2枚の上に大根の輪切り2枚、昆布2切、たつくり2匹、祝箸。(祝箸の名前は家族で一番若い人が書く。わが家では、息子が25年間くらい書いている。) 雑煮の具も切っておく。(大根、人参、ごぼうなど全部輪切りで丸いもの、おもちも丸もちです。)

元旦 初水とり お雑煮たき

・家中の神棚、仏壇にお灯明をあげ、屋敷神様には線香を手向け、雑煮は家の内、外の神様にまつる。

・全員そろって三方(さんぼう…三方に半紙、うらじろ、白米、鏡もち、祝昆布、だいだいをのせたもの)を大きく、各自頭上にいただきながら新年のあいさつ、そして、おとそ・おせち・雑煮と続き、その後で朝とった初水をいただく。

午後 七鳥居参り。室津の東山南北にあって、室津の住民の幸福を見守っている神様。(氏神…室津八幡神社・金比羅祀・大歳祀・白髪祀・熊野権現祀・貴布祢神社・天照宮祀) 天照宮祀は、山の中腹にあり徒歩でしかいけない場所なので、正月3日が日を和服で過ごす私は、着物に運動靴、片手には杖といういでたちで、お賽銭、おばなし、みかんを持っておまいりします。

わが家のしめ縄



- ①車など
- ②玄関
- ③とし神様の棚

①
②
③

ポカポカと暖かく、紅葉もまぶしいほどの12月初旬の日曜日、淡路市楠本にある古民家を用いた“プレーパーク淡路島 冒険の森”で囲炉裏(いろり)を囲んで、島外から移住された方、これから移住を考えている方に、ここでの住みごちや魅力、問題点を話し合ってもらおうという「田舎暮らし座談会」が開かれました。仕掛け人は淡路市企画課。初の試みでした。用意された淡路島名産のお香がたかれるなか、これまた淡路島の名産のオニオンスープやタコなども味わいつつ、ここへ移り住んだ経緯や家族の状況などが自己紹介とともにそれぞれが話されました。

田舎暮らし座談会



移住者は田舎暮らしを満喫



写真提供：淡路市企画課

魅力でも、楽しい不安もある。

田舎ならではのあたたかい人づきあいや、自然の景観がすばらしく、こころが癒されるなどの感想が続きました。その一方で、地域に溶けこむことの難しさ、住居探しに苦労したこと、交通手段の改善点、セカンドライフを楽しむためには医療に関する不安、また子育てでは産科が少ないことや通学の問題、定住を促進する具体的な働きかけなど行政への期待もあげられました。しかし、多くの皆さんはすでに温泉や魚釣りを楽しんだり、また花壇や野菜づくりを楽しんだり、かけがえのない田舎の暮らしごちを満喫されているようでした。

取材：竹原祐乗

文：板垣宏美さん(ニックさん)・智恵子さん(奥様) 昭子さん(お嫁さん)

ポケット

東山寺大根（とうさんじだいこん）を知っていますか？



くっきんぐ

淡路市長沢にある東山寺付近で作られる大根のことです。この辺りの土壌が砂地なので、そこで育った大根は キメ細やかで 煮えやすく、味がしみ込みやすいのが特長です。東山寺大根を栽培している農家の宮本さんにその美味しい食べ方を教わりました。



大根ステーキ

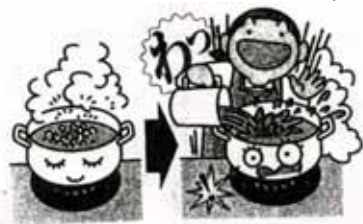
- ① 大根は皮をむいて 2～3cmの厚さに切る。
 - ② それを皿にのせてラップをかけ3～4分電子レンジに入れ、竹串が通るくらいにする。
 - ③ フライパンに油をひき ②の両面に焦げ目がつくくらいまで焼く。
 - ④ 醤油か ステーキソースなど好みのソースをかけ出来上がり。その上に柚子の皮を細かく切ったものをのせると 香りや色どりもよい。
- 応援隊: 福谷寿美



調理のときに突然言われた「びっくり水さし」として「エッ！???」

そこで、独特の言い回しで、暗号のような調理用語を集めてみました。

わからないものは、隣り近所で話題にしてそれとなく覚えましょう。どうしてもわからないときだけ、ポケットあわじに連絡してね。紙面でお答えします。



- ① 青み
- ② あく抜き
- ③ あしらい
- ④ あたりごま
- ⑤ 油が疲れる
- ⑥ 油通し
- ⑦ 油抜き
- ⑧ あらい
- ⑨ あら熱をとる
- ⑩ アルデンテ

- ⑪ 板ずり
- ⑫ 色止め
- ⑬ 追いがつお



- ⑭ 落しぶた
- ⑮ 隠し味
- ⑯ 隠し包丁
- ⑰ かぶるくらいの水
- ⑱ からいり
- ⑲ きせぶた
- ⑳ 空気を抜く
- ㉑ ささがき
- ㉒ 下味
- ㉓ 下ゆで
- ㉔ 塩抜き
- ㉕ すが立つ
- ㉖ 素揚げ

㉗ 化粧塩

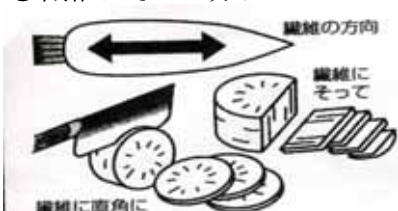


㉘ さしすせそ



- ㉙ すりきり
- ㉚ 血抜き

㉛ 繊維にそって切る



- ㉜ 中火
- ㉝ つなぎ
- ㉞ つま
- ㉟ 遠火の強火
- ㊱ 天盛り
- ㊲ 鍋肌
- ㊳ 煮えばな
- ㊴ 煮きる
- ㊵ ねかす
- ㊶ 針しょうが
- ㊷ びっくり水
- ㊸ ひたひたの水
- ㊹ ふたを切る
- ㊺ ひと口大に切る
- ㊻ 水にさらす
- ㊼ 水に放す
- ㊽ 面取り
- ㊾ もどす

㊿ ゆでこぼす



生活創造活動グループ プリザーブドフラワーを楽しむ会

南あわじ市 竹谷香代



「プリザーブドフラワー」ってご存知ですか？

プリザーブドとは、「保存する」という意味で、生花を特殊な加工をすることにより、生花のような質感や形を保ち続け、水を与える必要もなく、枯れることなく美しく咲き続けます。

私たち5人は南あわじ市のバラ園で働くパート仲間のおばちゃん(お姉さん?)たちです。バラが大好きで、フラワーアレンジメントやドライフラワーを楽しんでいましたが、昨年夏ごろから、プリザーブドフラワーにはまっ

てしまいました。最初はなかなかきれいなバラができなかったのですが、だんだんと形も色もうっとりするようなプリザーブドフラワーができるようになりました。バラの他にもかすみ草などの小花やユーカリやしだ類などのグリーンなどもプリザーブドしてアレンジできるようになりました。アレンジも最初は小さな作品でしたが、今は額やリースやクリスマスツリーなどの少し大きな作品もチャレンジしています。プリザーブドするのは各自宅でしていますが、最近はメンバー同士、プリザーブドフラワーを持ち寄ってアレンジを楽しんでいます。ほんの

いときですが、家族たちのことも忘れてプリザーブドの世界にどっぷりとつかって楽しんでいます。

グループの連絡先: ☎0799-52-2677 竹谷

～餅つき～ わが家は漁師町にある。比較的貧しい路地筋にあった。暮れになると餅つき屋なるものが来て広場をみつけては近所総出で餅をついた。わが家の餅つきは農家である母の実家に出かけた。それも親戚総出となる。それが楽しくて眠い目をこすりながら母について行った。冗談まじりのののしり合いに笑い声が飛んだ。つきたてにきな粉をつけて食べるのだが、顔は皆片栗粉のお化粧で真っ白けである。餅つきは年に一度ではない。正月の餅を始め、寒かき餅、ひな祭りの菱餅、節句の柏餅など1～2ヶ月おきに続く。田舎は行事が多い。春夏の祭りはもとより、1月の「どんど」に始まり寺の行事、神社の行事など目白押しである。それをわずらわしいととるか、楽しみととるかは別として、近隣に無関心でいてももらえない、それが田舎なのである。

西山満利子が聞いたしっちゃんさんの独り言



～きゅうりの子はきゅうり～

二十数年前、畑を借りて、野菜を育てたことがある。トマトやきゅうりなどを植えたのだが、どれも花が咲いてみると花卉の下にはきゅうりやトマトが既に存在しているのだ。微小で青いがどれも立派に面構えだけは親とそっくりなのだ。これが成熟していったあのトマトになるのだなあ、と感心したものだった。オクラにもきれいで立派な花が咲いた。その下には既にオクラの実がなっていた。しかもみんな天を向いて。農家の人にとっては、これまた当たり前の話なのだが、知らない者にとってはすべてが発見なのである。田舎はまだ未知との遭遇であり、小さな発見と感動が埋まっている。

「しっちゃん(写真)」って? : 道の駅あわじの西田利行さん。
ニックネームの由来は、昔、かなりやせていたからだとか...?



餅つき＝北淡地域の放課後こども教室と子育て学習センター



<淡路生活科学センターからのお知らせ>

第30回淡路くらしのひろば展



- 日 時 平成20年1月26日(土)
13:00~16:00(受付 12:30~)
- 会 場 淡路市立しづかホール(淡路市志筑新島5-4)
- 参加費 無料(申込みは不要です。どなたでもご自由にお越しください。)
- 内 容 【第Ⅰ部】 ◆ ひょうごさわやかステージ 佐野保育園児 和太鼓演奏
◆ 表彰授与式
【第Ⅱ部】 ◆ 活動報告 「レジ袋減らし隊運動 ~半年間の取り組み~」
◆ パネルディスカッション
テーマ「環境立島公園島淡路をめざして~レジ袋削減運動から~」
コーディネーター 鏡 宏一 氏(フリーアナウンサー・環境カウンセラー)
パネリスト (株)リベラルスーパーチェーン 近野 公昭 氏、黒沢 明氏
三洋電機(株) 芝 寿郎 氏
ブティック サンヴォーグ 中村 美穂 氏
南あわじ市消費者協会 山下 富子 氏 など



♪ ごみを少なくする標語・省エネポスターなどをロビーに展示

- 主 催 淡路くらしのひろば展実行委員会、淡路消費者団体連絡協議会
■ 共 催 淡路県民局 (事務局 県民運動課 TEL0799-26-2047)

県民局からのお知らせ

淡路の宝を巡る モニターツアー 参加者募集

淡路島まるごとミュージアムでは、淡路島の魅力を島内外に積極的に発信いただける島内在住の方を対象にモニターツアーを実施します。意欲のある方の参加をお待ちしています。

- ◆日程 1月27日(日)
◆参加費 3,340円
◆募集人員 40名
◆申込締切 平成20年1月15日(火)午前中

※申込書は各市公民館にあります。淡路県民局のホームページにも掲載。

伊弉諾神宮「淡路神楽」特別鑑賞、パルシェ香りの館「お香づくり」体験、猪・鹿肉を使った「古代鍋」などの賞味、「淡路人形浄瑠璃」「国生み神話紙芝居」鑑賞、県指定重要文化財「金天閣」特別鑑賞、「洲本温泉」など、淡路島の宝をまるごと堪能します。

- ◆問合せ先
淡路まるごとミュージアム担当
TEL 0799-26-2037

こころの健康づくり フォーラム

ストレス社会の現代、「こころの健康」は身体同様に、毎日の生活の中で大変重要です。この機会に「こころの健康」についてみんなで考えてみましょう。

- ◆日程 1月22日(火) 13:30~16:30
◆会場 淡路島国際ホテル・アレックス 4階 花綵(かさい)

◆参加無料

- ◆申込締切 平成20年1月18日(金)

◆内容

- ・「日常の診療場面で出会ううつ病~最近の動向~」
県立淡路病院精神神経科医長 青山慎介氏
- ・「ひとづきあい」
県立光風病院臨床心理士 中谷恭子氏
- ・音楽療法士による演奏、パネルや癒しグッズ、図書なども展示

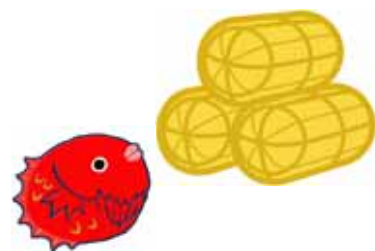
- ◆問合せ先 洲本健康福祉事務所
TEL 0799-26-2064 Fax 0799-22-3345

第45回 淡路農林水産祭

農林水産物豊穰豊漁祈願祭や農林水産物の展示即売会、その年の豊作を占う粥占祭などが行われます。

ぜひ、ご家族そろってお越しください。

- ◆日程 1月15日(火) 10:00~15:30
◆会場 伊弉諾神宮



- ◆問合せ先
淡路農林水産祭 事務局
(洲本農林水産振興事務所 農業振興第2課)
TEL 0799-26-2099

【時】開催日等 【所】場所 【料】料金 【問】問い合わせ先

■淡路夢舞台温室「奇跡の星の植物館」■【問】奇跡の星の植物館 TEL 74-1200 FAX 74-1201

【特別展入館料】当日 大人1,200円 65才以上600円 高校生700円 中学生600円 小学生300円

前売 大人 960円 65才以上480円

○特別展 淡路夢舞台ラン展2008 一春爛漫ラン絵巻【時】1月19日(土)～2月24日(日)

※今年のテーマは「香り」。朝・昼・夕方と異なる香りが楽しめる「香りの園」や、(株)資生堂リサーチセンターとの協力で設ける「ランの香りティスティング」コーナーが登場。「淡路ラン絵巻」では淡路島の地場産業の一つである「線香」にちなみ「香道」という伝統芸能を紹介しながら、江戸時代のランや香りを楽しむ暮らしを再現し、淡路島に原生するフウランと瓦、お香を中心に展開します。

※1/19～2/9まで日本・蘭協会のランコンテストを併せて開催。

○講演会「香りのランコレクション」【時】1月20日(日)13:30～【料】特別展入館料のみ

【講師】中村 祥二(株)資生堂リサーチセンター香料顧問・元チーフパフューマー・国際香りと文化の会会長)

内容:「ランの香りのひみつ」をテーマに、香りを持つランとその香りの特色、ランの香水を創る秘話など

■国営明石海峡公園■【問】明石海峡公園管理センター TEL 72-2000

【入園料】 大人400円 小人(小・中学生)80円 駐車料金 普通車500円 大型バス1600円

○寒餅会2008(もちつき大会)【時】1月12日(土)～13日(日) 11:00～【料】参加費無料※入園料・駐車料金別途必要

○花スケッチ～お正月のいけばなを描く

【時】1月23日(水)10:30～15:30【料】参加費1,000円(スケッチブック代込、2回目以降の参加は200円)※入園料・駐車料金別途必要

※当日参加可能、参加については要問合せ

■県立淡路景観園芸学校■【問】普及指導課 TEL 82-3455 HP: <http://www.awaji.ac.jp>

○まちづくりガーデナーテーマコース(星山について考える)

【時】2月27日(水)～29日(金)9:15～16:15【料】受講料7,600円 傷害保険料600円 実習材料費1,000円程度

【講座内容】里山についての基礎知識、保全方法、安全な作業方法、里山の恵みなどについて、講義と実習を通して学ぶ講座です。

【受講対象】主に兵庫県内に在住、在勤または在学者【定員】20名(定員を超過した場合は抽選)

【申込締切】2月6日(水) 所定の用紙を郵送またはFax送信で ※上記HPで申込用紙をダウンロードできます

〒656-1726 淡路市野島常盤954-2 淡路景観園芸学校 普及指導課

★しづかホール★

○兵庫県アンサンブルコンテスト

【時】1月20日(日)10:00開演

【料】無料

【問】兵庫県吹奏楽連盟 TEL 45-0039



★サンシャインホール★ TEL 74-0250

○淡路市人権シネマ① 恋するトマト

【時】1月26日(土) ①14:00～ ②19:00～

【料】500円(障害者手帳保持者250円)

【問】淡路市教委人権推進課 TEL 64-2521

★洲本市文化体育館★

○映画上映会「ルイスと未来泥棒」(日本語吹き替え版)

【時】1月14日(月) ①11:00～②15:00～【所】文化ホール『しばえもん座』

【料】前売 一般1,300円 高大 1,300円 小人 800円

当日 一般1,800円 高大 1,500円 小人1,000円

【問】洲本市立文化体育館 TEL 25-3321

○第3回ありがとう淡路島-邦楽コンサート 若い世代におくる日本の音楽2008

【時】1月19日(土) ①13:00～ ②18:00～【所】文化ホール『しばえもん座』

【料】S席3,000円 A席2,000円(全席指定)※未就学時の入場不可

【問】ありがとう淡路島邦楽コンサート実行委員会 担当:中村 TEL 22-3264

※山口崇氏による、音の見本市としての邦楽コンサート

○生長の家講習会【時】1月20日(日)10:00～【所】大ホール

【料】無料【問】生長の家兵庫県教化部 TEL 078-341-3921

○淡路フィルハーモニー管弦楽団第14回定期演奏会

【時】2月3日(日)14:00～【所】文化ホール『しばえもん座』

【料】無料【問】小川元延 TEL 62-0321

○『千の風になって』上映会

【時】2月13日(水) ①10:30～ ②13:30～【所】文化ホール『しばえもん座』

【料】一般・大学生1,200円 60才以上・障害のある方 1000円 小中高生500円

【問】兵庫県映画センター TEL 078-331-6100

○楽しい!キッズいけ花教室発表会【所】会議室1A-2・3

【時】2月24日(日)10:00～17:00【料】無料

【問】ゆり倶楽部 担当:曾根小百合 TEL 22-4845

○第3回阪神・淡路大震災メモリアルピアノコンサート
-平原誠之が奏でる鎮魂の響き-

【時】2月24日(日)14:30～【所】文化ホール『しばえもん座』

【料】前売 一般2,000円 小中高生 1,500円(当日は500円増)

【販売・問合せ】ブラービ音楽事務所 TEL 078-921-7131

<http://www.bravi-classical.com>

■灘黒岩水仙郷■

島の南部に位置する標高608mの論鶴羽山から海に続く45度の急傾斜面の一帯、約7万株にわたって500万本もの野生の水仙が咲き誇り、毎年多くの観光者に感動を与えています。

日本水仙三大自生地の一つとして知られる「灘黒岩水仙郷」が今年も開園しました。

【開園期間】平成19年12月23日(日)～平成20年2月下旬
9:00～17:00(最終入場16:30)

【料】大人500円 小人300円(15名以上1割引、100名以上2割引)

【問】南あわじ市商工観光課観光交流係 担当 北井
TEL 37-3012 Fax 37-3032

■北淡震災記念公園■【問】TEL82-3020

○北淡活断層シンポジウム2008 【所】セミナーハウス

- ・普及講演会「近畿地方を襲う近未来の大地震と防災」【時】1月12日(土) 13:00
- ・「2007年の能登半島地震・中越沖地震を考える」【時】1月13日(日) 9:00

○阪神・淡路大震災13周年記念イベント フェニックス合唱団 鎮魂の贈

【所】慰霊碑(べっちゃんいロック前)【時】1月17日(木)5:46～

黙祷後、阪神・淡路大震災13周年を迎え、犠牲者への鎮魂の祈りと復興への思いを込めて“千の風になって”を参加者全員で合唱します。 ※当日5:00から甘酒のふるまいがあります。

記帳 9:00～ 炊き出し11:00～、13:00～、15:00～(それぞれ100食)

○子どもクレヨンフェスティバル2008 みんな元気だ！おえかき大会！

【時】1月20日(日) 13:00～15:00 【参加費】500円 【申込締切】2008年1月15日(火)

【問・申込】世界子どもクレヨン基金 TEL 078-733-1463(10:00～20:00) Fax 078-733-1483(24時間受付)

e-mail kobeoffice@crayon-kikin.com

- ・みんな元気だ！おえかき大会！ 13:00～15:00

だれでも参加できます。※絵の具で汚れてもいい服装で来てください。

- ・子どもの絵と心の教室～心の災害に備えて～ 13:00～14:30 18才以上

父母はもちろん、子どもに関わるすべての人たちのための教室です。



ギャラリーインフォメーション

淡路文化会館 TEL 85-1391【料】無料

(展)…展示室 (ギ)…県民ギャラリー (資)…資料室
省資源・省エネルギー啓発ポスター
コンクール入賞作品展(ギ) (～1/10)
十の会作品展(展)(ギ) (1/12～ 1/24)
選抜書友展(展)(ギ) (1/26～ 2/ 7)
淡路洋画セミナー受講生作品展(展)(ギ) (2/10～ 3/ 2)
「いざなぎ学園」大学作品展(資) (2/14～ 3/ 4)

洲本市民交流センター TEL 24-4450【料】無料

アールギャラリー 洲本市公私立幼稚園幼児画展 (1/ 5～ 1/27)
洲本市公私立保育所(園)幼児画展(2/ 1～ 2/24)

洲本市文化体育館 TEL 25-3321

平成19年度「YU・らいふ・サポ」事業
県立淡路特別支援学校 校外作品展

【所】会議室2C-3【料】無料 (1/25～1/28)

洲本市老人クラブ連合会洲本支部ふれあい作品展

【所】会議室1A【料】無料 (1/31～ 2/1)

洲本市民工房3Fギャラリー TEL 22-3322【料】無料

墨に遊ぶ子供たち展 (2/ 9～ 2/10)

平成19年度「YU・らいふ・サポ」事業

県立淡路聴覚特別支援学校生徒「さくひんてん」(2/16～ 2/17)

洲本市立淡路文化史料館 TEL 24-3331

【料】大 400円、高・大 250円、小・中 100円

昭和の町洲本展 (2/ 2～3/23)

※2月の休館日 4・12・13・18・25日

淡路人形浄瑠璃資料館 TEL 43-5037

版画カレンダー展(ことぶき版画同好会)、

子ども版画展(市地区公民館版画教室) (～ 1/31)

淡路人形勢揃い (～ 2/ 3)

淡路人形浄瑠璃名場面「義経千本桜 道行初音旅」(来年8月まで)

玉青館 TEL 36-2314

【料】大 300円、高・大 200円、小・中 100円

「館藏品展2」 (～3/30)

編集だより

今月号は、身近な田舎を探す取材でしたが、私も淡路に嫁ぐこと十数年、田舎暮らしで感じていることがたくさんあります。

よそ者ならではの苦難も多々ありましたが(笑)、今一番思うのは、「淡路で子育てできて幸せ～」ということ。子どもたちはいつも自然とともに大きくなりました。基地や落とし穴を作ったり、銀杏の葉のベッドでごっこ遊び。なんともクリエイティブな日々。いつかなつかしく思い出してくれるといいなあ…。

応援隊 水田未央子

ポケットあわじでは、皆さまからのお便り、まちの情報をお待ちしています。お気軽にどうぞ！

(発行) 淡路生活創造応援隊

淡路県民局 淡路文化会館・淡路生活科学センター
〒656-1521 淡路市多賀600

TEL 0799-85-1391

FAX 0799-85-0400

E-mail: bunka-85awaji@maia.eonet.ne.jp

「ポケットあわじは」どこで手に入るの？・・・淡路島内各市の庁舎・公民館、ホール、商業施設などで無料配布しております。また、淡路文化会館のホームページ・下記URLでもご覧になれます。

<http://www.eonet.ne.jp/~awaji-cc/>